

市町村	団体名	団体の功績	地域の概要
1 鳥取市	しゅうりつ 修立地区まちづくり協議会	<p>○天神川あんどん桜まつり ・かつて天神川沿いの桜の開花時期に点灯させていた提灯を、2007年に環境にやさしいソーラーライトにより行燈の形で住民の手で復活させた。作成・設置は子どもからお年寄りまで参加し、賑わいづくりに活用している。</p> <p>○若者参画による新しい文化祭の実施 ・コロナ禍を踏まえ、大学生と連携してICTを活用して創意工夫した新しい地区文化祭を実現させた。</p>	鳥取市の旧市街地から山の手地区並びに旧鳥取三洋電機にまたがる商業地域の修立小学校区を中心とした地域で、鳥取東中学校、鳥取東高校に隣接する文教地帯にある。作曲家・岡野貞一を育んだ小学校区であり、明治の自由律俳人、尾崎放哉の生誕の地で、史跡碑など文化の香りと合わせて、天神川沿いの桜並木が自慢の地域である。
2 米子市	おたて 御建地域ケア会議	<p>○高齢者が一人でも安心して暮らすための見守り活動 独居、高齢者のみの世帯になったとしても、住み慣れた地域に長く住み続けるために必要なものを地域住民と一緒に考え、解決を図ることを目的に、「一人でも安心して暮らせる町づくり」を目指して、平成27年に御建地区ケア会議を立ち上げて取組を進めている。</p>	御建地区は河崎校区の中で最も大きな自治会であるが、65歳以上の高齢者が占める割合が41.9%と高い。地区内には真誠会セントラルクリニックがあり、合同で消防避難訓練を実施したり、災害時の避難場所として施設提供の協定を締結したりするなど、住民の心強い存在である。御建自治会の高齢化問題に関し、共に地域で考え、活動している。
3 米子市	かみごとう 上後藤二区自治会女性防災クラブ	<p>○地区内における女性目線での見守り・防災活動 ・平成22年に近隣で相次いで火災が発生したため、逃げ遅れゼロ・安全安心なまちづくり目指して女性防災クラブを6名で結成した。女性の立場・目線から防災活動における問題点を抽出し、特にお年寄りに関する活動は目を見張るものがある。年々活動の幅とレベルを高め、上後藤二区における防災活動・高齢者対策を牽引している。</p>	上後藤二区自治会は、約380世帯、人口1,100人で、地区内には病院、医院、銀行、拘置支所、NHKラジオ電波塔等がある。市道安倍三柳線と外浜線に囲まれた便利な住宅街である。近年、住民の高齢化が進み、空き家が増え、自治会員の減少傾向が続いている。
4 米子市	せきしゅうふ 石州府自治会	<p>○地域で協力しながら取り組む環境整備や防災活動等 県（あがた）地区の中でも高齢化が進んでおり、全世帯で行っていた環境整備活動などに参加が難しくなってきた世帯が増える中、地域で協力しながら活動の継続を考え取組を行っている。また、防災活動にも力を入れて活動をしている。</p>	米子市石州府は米子市の南部に位置し、伯耆町に隣接している。石州府地域は水田、畑作及び果樹栽培を中心とする農村地帯である。地域内には石州府遺跡公園があり、企業誘致したシャープ米子が立地する地域である。
5 倉吉市	かみほうじょう 上北条まちづくり協議会	<p>平成29年に上北条地区防災部を立ち上げ、地区の住民が安全・安心に暮らせるための生活環境を守るため、災害発生時に機能する体制づくりを行い、災害発生時に防災・避難活動が地区全体で円滑に取り組めることを目的として活動している。</p>	上北条地区は、倉吉市の北部に位置し、旧上北条村に当たる。北条平野の一角にあり、主として水田地帯を形成し、南西部に丘陵地をひかえ、東は天神川をはさむ。また、中部地区最大の二条大麦（通称：ビール麦）の生産地としても有名である。